

みなさんの毎日に欠かせない、身近な紙を作る仕事です

製紙オペレーター



みなさんが使うティッシュやトイレットペーパーなどを、大きな機械で作っています。紙のもとになる巨大なロール（原紙）は、はばが約3m、長さはなんと4万2000mもあります。これを使いやすい大きさに切り、大切に包んで皆さんのもとへ届けています。材料の「パルプ」は、岩手県で育った木を中心にすべて国産の木を使っています。わたしたちは製品を作るだけでなく、未来のために森を守り、育てる活動にも力を入れています。



このお仕事に
ついた
きっかけ

北上工場で生産している「ナクレ」を愛用していて、自分も作りたいと思い入社しました。お客様から応援の手紙をいただいた時はとてもうれしく、「もっと良いものを作りたい」と感じました。

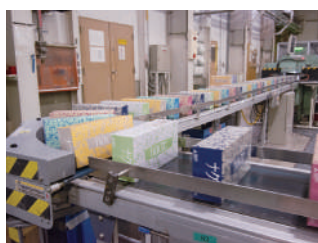
製紙オペレーターってどんなお仕事をしているの？

▶ パルプから紙を作る



2種類のパルプと水などをミキサーで混ぜ合わせて、ドロドロの液体にします。それを「抄紙機」という大きな機械を使ってロール状の紙を作っていきます。

▶ 箱詰めしたらいよいよ完成！



製品の大きさにカットし、きれいに箱へ詰めたら完成です。北上工場で作られるティッシュペーパーは、一日当たりおよそ18トンで、約7万5000箱を生産しています。

▶ 2枚の紙を重ねて仕上げ工程へ



出来上がった大きなロールを別の機械に2本セットして、2枚の紙が重なるように巻き直します。その後、はば約90cmの大きさに切り分けて、仕上げ工程へ運びます。

▶ 機械の点検も大切な仕事



製品を作るためには、大きさや紙のしわがないかなど、品質を厳しく確認することも大切な工程です。また、機械がいつも正しく動くよう、点検もしっかりおこなっています。

この会社に教えてもらったよ！

紙を作り、森を育み、くらしを支える会社です

三菱製紙株式会社 北上工場

北上市相去町笹根35 TEL/0197-67-3211

創業/1965年7月 従業員数/205名



三菱製紙株式会社 北上工場は他にもこんな仕事をしています

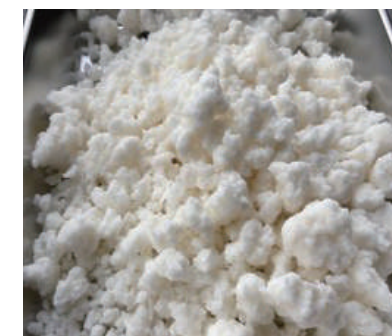
▶ チップ製造

パルプの原料として岩手県や秋田県からトラックで運ばれてきた丸太（原木）や、小さく切った木材（チップ）を集めています。木の皮をむいてチップを作ったり、他の会社からチップを買ったりして、パルプの工程に送ります。



▶ パルプ製造

紙の原料となるパルプを作る工程で、機械が正しく運転できているか確認しながら操作しています。木のチップと薬品を一緒に煮て、繊維を取り出したものが茶色いパルプで、それを漂白して紙を作る工程へ運びます。



▶ 機能紙製造

紙に樹脂を塗ってつやのある紙（インクジェット原紙）に加工しています。インクジェット原紙を作る機械の運転や、正しく動いているか確認するほか、定期的な点検を実施しています。完成した製品を出荷する前の検査もおこなっています。



✓ CHECK! 清掃活動で町をきれいに！工場見学も受け付けています

定期的に北上川のまわりをきれいにしたり、工場の近郊のゴミ拾いをしたりなど、清掃活動をおこなっています。また、小学5年生から高校生まで工場見学を受け入れており、ここで作られている製品の紹介や、簡単な作業の体験をしてもらっています。



こんな人も
働いて
います！

■ マシンオペレーター ■ 事務 ■ 資材管理 ■ 検査 ■ 会計 ■ 人事 ■ 生産管理